

# 福祉 ぐんま

NO.242  
2012 秋号

 社会福祉法人 群馬県社会福祉協議会



## ■主な内容

- \* 第49回関東ブロック郡市区町村社協職員合同研究協議会…2
- \* ソウェルクラブ新規会員募集中…3
- \* 平成24年度群馬県社会福祉大会…4
- \* 共同募金運動スタート!…5
- \* ボランティア情報…6~7
- \* 素敵な笑顔…8
- \* 「福祉のお仕事相談コーナー」をご利用ください…8
- \* 福祉まめ知識…8

障害者支援施設 桂荘  
下山 里佳さん  
(関連記事は8ページに掲載)

 「福祉ぐんま」の作成経費として共同募金配分金を使用しています。

# 第49回関東ブロック 郡市区町村社協職員合同研究協議会

「その時、社協はどうする!?!」～社協の真価を問う～

平成24年7月19日(木)・20日(金)の両日、水上温泉を会場に第49回関東ブロック郡市区町村社協職員合同研究協議会が開催された。東日本大震災から1年4カ月が経過し、復興に向け社協は何かできるのか、人と人との繋がりや支え合いを進める社協の真価が改めて問われている中での研究協議会の開催である。



参加者を出迎える館林市社協のマスコット「たーてん(右)」と群馬県のマスコット「ぐんまちゃん(左)」

## ●研究協議会の概要

関東甲信越静の各県から約三百人の社協職員が集い、基調説明、分科会、シンポジウム、記念講演の各プログラムにもとづき研究協議が進められた。メインテーマは、「その時、社協はどうする!?!」であり、支援を受ける社協、支援する社協のそれぞれの立場や、他機関との連携、平時の活動の大切さ、在宅福祉、子育て支援、社協の強みなどが確認された。



分科会の様子

## ●分科会での協議

各分科会では、次のテーマで協議が進められた。各テーマは、それぞれの都県で企画し協働により進められた。

第一分科会「お互い様の地域づくり」―「ずっとここで暮らしたい」を応援する社協活動とは―。第二分科会「持ち寄り! 検討! 持ち帰り! 地域が担う在宅福祉の推進!」―「その人らしい生き方・生活を支える」を考

える。第三分科会「小規模社協における事業展開」―小さなまちの強みを活かす。第四分科会「災害時、社協の役割を發揮するため」―「災害支援体制づくりの「要(かなめ)」を見出す―。第五分科会「子育てと地域の絆」―子育てと地域のかき育て家庭を支える地域のかき育。第六分科会「いっしょにやろう。参加・協働で進める地域福祉」―プラットフォームの「言いだしっぺ」になれる社協を目指して。である。

## ●シンポジウム

3・11の東日本大震災の経験をもとに、社協のもつ繋がりについて再認識し、人と人をつなぐように繋げていくか、また、何ができるかを具体的に考えるシンポジウムとなった。

## ●記念講演

記念講演は、一般社団法人コミュニティ・4・チルドレン代表理事、JPCOM代表、支援

者のための支援センターTOMONY共同代表である、桑原英文氏による「災害にも強い地域を目指して」―災害発生から復興支援として平時を問う―をテーマに講演が行われた。

講師の桑原氏は、当日まで九州北部豪雨による災害支援を行い群馬県入りし、災害支援とは何かを問いかけてくださった。

## ●平時の活動の大切さ

東日本大震災が、私たちや地域社会に投げかけたことは、災害時の社協、災害ボランティアセンターの役割と機能、被災地、被災者に寄り添う支援など改めて見つめ直すことと、平時に取り組むディフェンス、オフフェンスの大切さである。



講師の桑原英文さん

# 職員の定着とよりよい福祉サービスの提供に

## ソウエルクラブ新規会員募集中

「ソウエルクラブって何？」

福利厚生センター（通称「ソウエルクラブ」）は、社会福祉法102条に基づき、「社会福祉事業従事者の福利厚生の増進を図る」ことを目的として、厚生労働大臣から指定された全国で唯一の法人です。

「福利厚生者の目的とは」

福利厚生には、法律で義務付けられた法定福利（社会保険料の事業主負担など）と、企業が任意で実施する法定外福利（交通費・社宅・健康診断・育児支援・保養施設など）があります。

福利厚生センターはこのうち、企業が任意で実施する法定外福利を全国規模で共同化することにより、規模のメリットを最大限に活かし、個々の法人では成し得ない多種多様なサービスを提供しています。

法律で福利厚生センターを規定する目的は、福利厚生によって働きがいのある職場環境作り、職員のリフレッシュ、勤労意欲の向上、人材の定着、そして最終的にはよりよい福祉サービスの提供につながるかと考えるからです。

### ソウエルクラブ活用術

ソウエルクラブに寄せられる声で最も多いご意見は、職員一人あたり毎年一万円の掛金が高いといったことです。今回は、先日、福利厚生センターで発行された「わが法人のソウエルクラブ活用術」をもとに福利厚生事業について考えてみましょう。

ソウエルクラブで最も活用されているサービスは、三十歳以上の会員の生活習慣病予防検診費用助成（四千二百二十円、女性



わが法人のソウエルクラブ活用術

は乳がん検診、子宮がん検診を受診された場合は更に八百二十円が助成)で、法人の負担割合が軽減されるとの声があります。また、スケールメリットを活かした割安な住宅等のローン、団体保険は、従業員数数十人といった小規模の事業者が多い福祉職場には助かると言った声もあります。更には、各種の慶弔見舞金やクラブ・サークル活動助成を職場内の交流や職員の健康づくりに役立てているといった事業所も見られます。事業所としてもウイズカウネットを利用して経費削減につながっていると聞いた意見もありました。

そして、何と言っても各種イベントの観劇・野球観戦等を割安な価格でご案内している会員

交流事業は、人気を博しています。職員にとってもメリットが大きい。中には掛金を職員と事業所で折半をしてソウエルクラブに加入している事業所もあります。

### 各種手続きも簡単

手続きも、インターネットでソウエルクラブのホームページから各種様式をダウンロードし、東京の福利厚生センターへ送るだけ。会員交流事業の内容や地域開発メニュー（各地域限定の割引制度）もインターネットで確認できますので、この機会に是非ご利用ください。

福利厚生センター（ソウエルクラブ）ホームページ  
<http://www.sowel.or.jp/>

# ソウエルクラブ (福利厚生センター) 新規会員募集中!

新規会員募集中!  
 会員数 217,000人

### 職員の健康管理のために

- 生活習慣病予防健診費用助成
- 健康生活用品給付
- スポーツクラブ
- 電話健康相談

### 職員の慶事のお祝いに

- 結婚お祝品贈呈
- 出産お祝品贈呈
- 入学お祝品贈呈
- 資格取得記念品贈呈
- 永年勤続記念品贈呈

### 地域に密着した事業

- 会員交流事業(旅行・観劇・スポーツ大会等)

### 職員の万が一の際に

- 会員の死亡弔慰金
- 会員の配偶者の死亡弔慰金
- 会員の入院・手術見舞金
- 災害見舞金

### 職員の余暇活用のために

- 指定保養所…休暇村 他 全国114か所
- 会員制リゾート施設…ラフォーレ倶楽部 他 全国238か所
- クラブ・サークル活動助成
- テーマパーク
- 国内・海外旅行
- レンタカー
- カルチャースクール・ゴルフ・乗馬等

### 職員の資質向上のために

- 広報講習会
- レク・リーダー養成講習会
- 接遇講習会
- パソコン講習会
- メンタルヘルス講習会
- 海外研修

### 職員の生活サポートのために

- 住宅ローン ●特別資金ローン
- ソウエル団体生命保険・傷害保険
- 小売店、引越サービス、文具・消耗品、書籍等

### 各種情報提供

- 会員情報誌 ●ホームページ

**しくみ** 社会福祉事業経営者が当センターと契約することにより、その事業所に勤務する方々が会員として登録され、自由に福利厚生サービスを利用することができます。

**掛金** 掛金は職員一人当たり毎年度1万円です。

加入申し込み、お問い合わせは、  
 TEL ☎0120-292-711  
 FAX ☎0120-292-722  
<http://www.sowel.or.jp/>  
 社会福祉法人 福利厚生センター  
 〒101-0052 東京都千代田区神田小川町1-3-1  
 NBF小川町ビル



## 平成二十四年度 群馬県社会福祉大会

「人・家族・地域がつながり、支え合う社会をめざして」

永年にわたり社会福祉の発展に功績のあった方々を表彰し、感謝の意を表するとともに、県民だれもがともに支え合い、住みなれた地域で、その人らしく安心して暮らせる福祉社会の実現をめざして開催します。



【期日】 平成24年11月21日(水)  
【会場】 前橋市民文化会館大ホール

【内容】 第一部 記念講演  
午前10時30分～12時  
演題 「家族の大切さ」  
講師 笹野 高史氏(俳優)

【主催】 群馬県・群馬県教育委員会・群馬県社会福祉協議会・群馬県共同募金会  
【連絡先】 大会 事務局  
(群馬県社会福祉協議会)  
☎027(255)6033

## 新会計基準の研修会

社会福祉法人の会計が平成27年度からは全ての法人で新しい基準へ移行するため、群馬県社会福祉協議会と群馬県社会福祉施設経営者協議会との共催で、研修会を実施しました。



講師に永田会計事務所所長の永田智彦氏を迎え、8月22日に障害者施設等、23日に高齢者施設、30日に保育園を対象に実施し、合計330名の参加がありました。

現行基準からの変更点を財務諸表、会計処理、会計手法など様々な点から説明があり、参加者からは「新会計基準の概要を理解できた」「移行期間や手続きがわかった」など声が寄せられ、充実した研修会となりました。

## 虐待防止セミナーのお知らせ

高齢者虐待、児童虐待、障害者虐待のそれぞれの現状や課題について、参加者と共に考える場として開催します。

【日時】

○平成24年10月19日(金)

【高年齢者虐待について】

講師 日本女子大学 人間社会学部

教授 渡部律子氏

○平成24年11月19日(月)

【児童虐待について】

講師 子どもの虐待防止センター  
理事・相談員 広岡智子氏

○平成24年11月27日(火)

【障害者虐待について】

講師 南魚沼法律事務所 弁護士 黒岩海映氏

【会場】

群馬県社会福祉総合センター1階ホール  
(前橋市新前橋町13-12)

【連絡先および申込先】

福祉サービス支援課まで

☎027(255)6226

FAX 027(255)6173

## 第20回 ハートtoハート

## ミュージックフェスティバル

### 開催のお知らせ

歌や音楽に国境はありません。歌はいつも私たちのそばにいて、共に悲しみ、慰め、怒り、喜び、愛し、支え、励まし、勇気づけてくれます。今回で節目の20回目。心に響く音楽を共に楽しみましょう。

- 日時 平成24年10月30日(火) 13時～15時30分
- 会場 前橋市総合福祉会館 多目的ホール (前橋市日吉町二丁目17-10)
- 主催 群馬県社会福祉協議会 厚生事業部会
- 出演者 「ボサノバ・カサノバ」、「ストレイ☆ボーイズ」、「マジシャン 若鳩」他 (予定)
- 入場料 無料
- 参加申込 事前に申込みが必要です。施設福祉課までご連絡ください。
- 問い合わせ 施設福祉課 ☎027(255)6034



マジシャン 若鳩

じよんの町を良くするしくみ。

# 赤い羽根共同募金

## 赤い羽根情報

<http://www.akaihane-gunma.or.jp/>



社会福祉法人群馬県共同募金会

前橋市新前橋町 13 番地の 12

群馬県社会福祉総合センター 4 階

TEL 027-255-6596

FAX 027-255-6214

# 共同募金運動スタート!

**運動期間**  
**10月1日~**  
**12月31日**

群馬県では65年目となる**共同募金運動**が、10月1日から始まります。赤い羽根に協力して下さったみなさまのやさしさは、大きな力となって、みなさまの町の福祉を応援してくれています。今年もご理解・ご協力をお願いします。



ワークショップありす (太田市)  
利用者送迎用車輛購入



館林音楽精神障害者家族会  
たけのこ会 (館林市)  
講演会開催



Rainbows (高崎市)  
託児ボランティア、外国人家庭支援  
防災活動など

あなたの募金は、  
あなたの町へ。

今年の募金目標額

# 309,684,000円

(一般募金 198,000,000円 歳末募金 111,684,000円)



おもちゃの図書館  
あそびの広場 (渋川市)  
療育活動ボランティア



みなかみ町老人クラブ連合会  
月夜野支部 (みなかみ町)  
安全支援隊 ベスト購入

※共同募金は、必要とされる金額をその年の目標額とする「計画募金」です。これは、寄付を公平に配分するための方法として、社会福祉法に定められています。



中之条町聴覚障害者福祉協会  
手話講習会などで使用する  
プロジェクター関連機器購入



TSUBASA FC (前橋市)  
知的障害児者サッカーチーム  
イベント開催



東吾妻町社会福祉協議会  
傾聴ボランティア養成講座開催

更に詳しい募金の使い途は「赤い羽根データベースはねっと」へ>>> <http://hanett.akaihane.or.jp/hanett/pub/home.do>

# Hello! ボランティアセンター

## 千代田町ボランティアセンター



福祉体験教室の様子

～あなたにもできる“ふれあいボランティア”一緒に探しませんか?～

千代田町ボランティアセンターは、平成24年4月1日より町社会福祉協議会が設置・運営し、町民から様々なボランティアに関する相談を受け、活動のコーディネートをしています。

福祉教育では、町内の学校と連携して高齢者や妊婦疑似・車イス・ブラインドウォークなど体験教室を中心に実施し、講話を交え福祉について「総合的に学べる場」を心がけています。また、リサイクルを通じ環境保全や医療・教育支援、

地域福祉に役立てられる収集ボランティア活動を推進し、子どもからお年寄りまで多くのかたにご協力をいただいています。その他、東日本大震災復興支援の取り組みとして、町民からボランティアを募り被災地へ災害支援ボランティアバスを2回運行しました。

一人暮らし高齢者を対象とした給食サービス事業では、町ボランティア連絡協議会のご協力のもと、町商工会との協働により「地元の味」を提供することで多くのかたに喜んでいただいています。

今後も、ボランティア活動をはじめ“きっかけ”となるような講座等を開催し、地域に溶け込み、町民から親しまれるボランティアセンターを目指していきます。

千代田町ボランティアセンター

〒370-0503 邑楽郡千代田町大字赤岩2119-5 (千代田町総合福祉センター内)

TEL0276-86-6181 FAX0276-86-5444

ボ  
ラ  
ン  
テ  
ィ  
ア  
情  
報

## 被災地は今…岩手県・釜石市より

釜石市社会福祉協議会は、3.11発災後3日目から災害支援ボランティアセンターを設置しました。被害程度は甚大で、大地震によりひきおこされた津波により、多くの尊い生命と貴重な財産を失ってしまいました。震災の影響は浸水エリアのみならず市内全域にわたり、人々の日常生活を奪ってしまいました。もともと超高齢社会を迎えていた当地域は、今後大変苦しい復興への道のりを歩まなければなりません。

当協議会では、こうした諸課題に対応するため「釜石市社協生活ご安心センター」を立ち上げ、支援活動を行っております。生活支援相談員による生活課題の掘り起こし、

ボランティアセンターによる隙間ニーズへの迅速な対応、支援ニーズに対応する新たな福祉サービスの企画・開発機能を包括してすすめるセンター事業は、外部の支援ともしっかりとつながって、被災地を支えています。こうした私たちにとって希望の糧とは、日本全国からの救援・支援活動でした。どこかで私たちのために祈ってくれる人がいる、応援して下さる人がいる、こうした思いを受け止め、深い悲しみから目をそらさず、少しずつではありますが前を向き始めることができていると思います。群馬の皆様にも本当にたくさんのご支援を頂戴しました。こうした“つながり”を大切に、普通の暮らしを1日も早く取り戻したいと思っています。これからもご支援よろしくお願ひします。



新たなビーチづくりへ

# 社会福祉協力校 桐生市立桜木中学校

## 1. 福祉教育の目標

本校は、伝統文化の香り高い織都桐生市の西に位置していません。近くには春に爛漫と花を咲かせる桜並木や、清らかな水の流れる渡良瀬川があり、恵まれた環境の中で生徒は勉強と部活動に励んでいます。今年は事業三年目に当たり、より一層福祉教育を充実させていこうと考えています。今年度の目標は、「心豊かな生徒の育成を目指し、お互いの良さを違いを認め合い、思いやりの心を育む」とことと、「さまざまな体験活動を通して、郷土愛（ふるさと桐生を好きになる子ども）の育成や社会奉仕の精神を育てることです。」

## 2. 取り組み内容の紹介

- (1)福祉体験講座の実施  
福祉・生き方講演会の実施  
(昨年は、パラリンピック水泳競技金メダリストによる講演会「夢、努力、絶対にあきらめない」)
- 認知症サポーター養成講座の実施(認知症の症状、予防、対応等についての講話)
- (2)リサイクル活動の実施
- エコキヤップ回収・リサイクル
- アルミ缶・プルトップ回収・リサイクル
- 書き損じはがきの回収
- (3)募金活動の実施
- 友情の絵はがき販売
- 赤い羽根募金、東日本大震災義援金の募金
- (4)家庭や地域との交流
- 学校行事(校内弁論大会、体育祭、合唱コンクールなどに家族や地域の方を招待)
- 地域の幼稚園・保育園訪問
- 特別支援学級交流会への参加
- 桐生市立特別支援学校との交流
- 渡良瀬川清掃への参加
- また、生徒会によるあいさつ運動(毎週)、JRC登録式の実施、人権集中学習、レックドリボン運動等も積極的に行いました。

## 3. 3カ年の成果と課題



体験活動を主体に取り組んだ成果として、「認知症サポーター養成講座」では、生徒は実感を伴って認知症への理解を深めていました。また、昨年の福祉・生き方講演会では、想像する以上の努力を重ねて金メダルを獲得したことや、家族への深い感謝の気持ちを知り、今まで意識しなかった方々の気持ちに気付いたり、人とかかわり方や生き方を深く考えていました。中学生の自分に何ができるかを真剣に考える好機会となりました。

今後も生徒主体の活動を中核に、互いの良さや違いを認め合える心豊かな生徒、周りの人のことを考えて行動できる社会奉仕の心を持った生徒を育成していきたいと思えます。

## ぐんまボランティアフォーラム2012 ～つなげよう今、そして未来へ～

平成18年に実施した「第15回全国ボランティアフェスティバルぐんま」の成果をより確実なものとし、県下における地域ボランティア活動の一層の振興を図るため、ボランティア関係のメイン行事として県下、5つの地域持ち回り開催により、群馬県独自のボランティアフェスティバルを開催し、県内のボランティア、NPOなどの交流・研究の場を設け、新たなネットワークの構築・形成を行ってきましたが、今年度は東日本大震災の支援活動をとおして生まれた新たな関係者とのつながりを大切にしながら、改めてボランティア活動の必要性や意義を見直し、本県におけるボランティア活動の一層の振興につながる機会としていくための、県民フォーラムを開催いたします。

### <開催内容及び会場>

会場	前橋市総合福祉会館
11月24日(土)	■シンポジウム (10:00~12:00)
	■分科会 (13:00~15:00) 災害支援を主テーマに「ボランティア・市民活動」、「若者」「企業・団体」向けの4つの分科会を予定
	■クロージングセッション (15:20~16:30)
	■復興デパート及びパネル展示 (10:00~15:00) 東北3県の授産製品等の展示販売、県内ボランティア・市民活動団体及び企業の社会貢献活動等のパネル展示による紹介コーナーの設置

### <お問い合わせ先>

ぐんまボランティア・市民活動支援センター  
〒371-8525 群馬県前橋市新前橋町13-12  
群馬県社会福祉協議会内  
TEL:027-255-6111 FAX:027-255-6444

障害者支援施設 桂荘 下山 里佳さん

秋号表紙

素敵な笑顔

下山里佳さんは、前橋市にある障害者支援施設「桂荘」の調理員として勤務しています。休日には大好きな城めぐりや読書などをマイペースに楽しんでいるとのこと。



※興味は城めぐりと聞きましたが、歴史全般に興味があります。

※このお仕事に就いたきっかけは？  
高校卒業後、料理を覚えたいと思って専門学校で調理科に進学しました。当初はあまり就職について意識していなかったのですが、父が病院給食の仕事をしていたので自然と影響を受けたのでしょうか。

※お仕事の内容は？

桂荘には入所の方と通所の方が多い、朝昼晩全ての食事作りが私の仕事です。献立に基づいて、仕込みから調理、盛りつけ、配膳までを行います。多いときは一度に50人分を作るので体力勝負なところもあります。

※やりがいや嬉しかったことは？

嬉しいのは、皆さんが食べている姿を見ることが多いこと。シャイな方が多いので直接の感想はなかなか聞けないですが、食べ終わった空のお皿が置いてあるだけで嬉しくなります。たまに「おいしかったよ」とか「明日も楽しみにしてるよ」と言ってもらえる

一番好きな歴史上の人物は石田三成だといふ下山さん。撮影では、同じ豊臣西軍で、群馬にもゆかりがある真田軍の旗を持ってきてくれました。明るい笑顔がとても素敵でした。

と、さらに頑張ろうと思います。  
歴史全般に興味があります。きっかけは戦国時代をテーマにしたゲームだったのですが、そこから大河ドラマを見たり、歴史小説を読んだり、どんどのめり込んでいきました。  
城めぐりは、日本百名城を中心に、関東近郊の城や城跡に行っています。群馬県だと沼田城や箕輪城が素敵ですね。城跡に行つて数百年前に生きた人物に思いをはせるのが好きです。  
※これからの目標と、福祉職を目指す方へメッセージを。  
福祉施設での調理には嚙む力が弱い方への「刻み食」、透析を行つている方への独特の調理法があります。まだまだ新人なので、これからも努力して料理の腕を上げたいと思っています。福祉職を目指す方も、熱意があれば大丈夫。専門的な技術は就職してから身につけられるものも多いため、まずは「この仕事に就きたい」という思いを大事にしてほしいと思います。

「福祉のお仕事相談コーナー」をご利用ください

群馬県福祉マンパワーセンターおよび高崎市・太田市福祉人材バンクでは、県内ハローワークでの出張相談を始めました。

- 福祉の仕事や資格について知りたい
- 求人情報を知りたい
- 自分に合った就職先が知りたい  
など様々な相談に応じます。

予約不要・秘密は厳守いたします。  
ぜひお気軽にご利用ください。

問い合わせ先

- 県福祉マンパワーセンター  
〒371-8525 前橋市新前橋町 13-12 (県社会福祉総合センター6階)  
☎ 027-255-6600
- 高崎市福祉人材バンク  
〒370-0045 高崎市東町 80-1 (高崎市労使会館1階)  
☎ 027-324-2761
- 太田市福祉人材バンク  
〒373-0853 太田市浜町 2-7 (太田市福祉会館1階)  
☎ 0276-48-9599

「福祉のお仕事相談コーナー」開設日

ハローワーク名	開設日時	問い合わせ先
ハローワーク渋川	毎月1回 日時はお問い合わせください	県福祉マンパワーセンター
ハローワーク中之条	毎月第2・第4月曜日 13時~16時	県福祉マンパワーセンター
ハローワーク高崎	毎月第2・第4火曜日 13時~16時	高崎市福祉人材バンク
ハローワーク安中	毎月第3火曜日 9時30分~11時30分	高崎市福祉人材バンク
ハローワーク富岡	毎月1回 日時はお問い合わせください	高崎市福祉人材バンク
ハローワーク桐生	毎月1回 日時はお問い合わせください	太田市福祉人材バンク

福祉まめ知識

Q 「障害者虐待防止法」の概要について教えてください。

A 「障害者虐待防止法」は平成24年10月1日に施行されました。

障害者への虐待を発見した人に自治体への通報を義務付けるとともに、家族の虐待、福祉施設における職員の虐待、職場における事業主等の虐待を虐待と定義しています。また、通報によって解雇など不利益を受けないことも明記されています。虐待対応の窓口となる「市町村障害者虐待防止センター」や「都道府県障害者権利擁護センター」の設置が義務付けられました。

学校や病院等における虐待の取扱いについては、防止等のための措置を学校長、管理者等に義務付けられましたが、虐待の定義には規程されず、3年後の法の見直しの際の検討課題として附則に盛り込まれました。

編集/発行  
社会福祉法人 群馬県社会福祉協議会  
〒371-8525 (専用郵便番号)  
群馬県前橋市新前橋町13-12  
群馬県社会福祉総合センター内  
TEL 027-255-6033(代表)  
FAX 027-255-6173  
URL http://www.g-shakyo.or.jp/  
発行日 平成24年10月1日